

第3回八幡市特別職報酬等審議会 会議録

1. 日時 令和8年1月23日 午前10時～11時39分
2. 場所 八幡市役所4階会議室4-2
3. 出席委員 寺井会長、松田会長代理、石黒委員、稲葉委員、田中委員、横川委員
4. 市議会議員代表 太田議長、奥村副議長、福田議会運営委員長、叶議員
5. 事務局出席者 橋口政策企画部長、寺田市長公室長、板東人事課長、
北出人事課長補佐、井上人事課長補佐

6. 傍聴人 3名

7. 会議録＜要旨＞

(第1回及び第2回審議会の概要)

- ・市の財政状況
令和6年度は支出超過だが、財政の早期健全化等の判断指標の数値は低い
- ・類似団体との均衡
市長、副市長、教育長は平均よりも低い水準
議長、副議長、議員は平均よりも高い水準
- ・社会情勢との均衡
市の職員の給料は全国平均 令和5年、6年は物価高騰による大幅なプラス改定
市長、副市長、教育長は平成27年～改定なし
議長、副議長、議員は平成9年～改定なし
- ・職務・職責に対する妥当性
他市より議員数が多く、議員報酬も高い水準のため、独自の活動があるか

(八幡市議会議員への質問に対する回答)

- ・各自治体議会において様々な取り組みがされており、特段特別なことはない
- ・八幡市議会は陳情の取扱いが丁寧
すべての陳情を委員会で付託し審査するため労力が必要
- ・平成9年の議員報酬改定時の理由
特別職報酬等審議会の答申に基づいて／議会活動内容の多様化／
一般職員の給与水準の向上／他団体との均衡 を考慮して
- ・前回「報酬の10%減額」を答申し、「1年間5%減額」とした根拠
議会運営委員会で議論し、全会一致の地点
全国的に地方議員の歳費の引き上げが議論されており時限的とした
- ・市議会だより以外の議員の活動を知る方法
本会議、委員会の傍聴（インターネット含む）

市議会のホームページ、会派および議員個人の活動報告（SNS、HP、チラシ含む）
市民相談

（八幡市議会議員を取り巻く課題）

職責を果たすための活動環境や負担の実態を踏まえた理解がしてもらえない
費用的課題

広報誌全戸配布の発行には1回50～60万円要するが、議員報酬の中から支出
健康保険や年金で労使折半がなく全額自己負担

失業保険の適用もなく退職金制度もない

報酬であり給料ではないので、有事の際も報酬の中で活動していく

時間的課題

議員、政党所属議員、地域の様々な団体に所属しているとほぼ休日はなく出務
兼務では、議員活動の質が落ちることもある

議員21人は7人×3 常任委員会 減員では委員会の議論に不安を感じる

↓

地方議員への立候補の裾野を狭める要因

議会における年齢、性別、職業経験の多様性が損なわれ、市民の声を反映できない
子育て盛り、働き盛りの年代が議員になるのは厳しい

（報酬検討時の意見について）

- ・京田辺市の答申に「議員報酬が42万円であれば、若い人に議員専任ですることでも考えてもらえるのではないかと記載されている
- ・市民相談は守秘義務があり表に出せない、各会合の参加費等もあり大変な事情はわかるが、見えるものを一定評価していかないといけない
- ・平成9年の議員報酬改定時の類似団体がどのようなものか。八幡市の報酬は高い。
- ・単に議員報酬を上げたらいいいという問題ではない。報酬のあり方を模索できればいい。
- ・大変なのはわかったが、八幡市が全国平均よりも高いという理由にはならない。
- ・同レベルの他の市町村と比較するしかない。
- ・広報活動にお金がかかると言われたが、SNS等活動のあり方も含めた活動費の別立ての議論が必要。
- ・市長、副市長、教育長と市議会議員とでは社会保障が全然違うので、その違いも踏まえて検討する必要がある。

（連絡事項）

第4回審議会の日程（予定）

令和8年2月24日（火）午前10時 八幡市役所4階会議室4-1